タイトル: 乗鞍岳におけるミューオン強度の精密観測

発表者 : 宗像一起 (信州大学理学部)

要旨：

乗鞍ミューオン計による今年度の観測状況を報告した。また、名古屋ミューオン計による約40年間の観測データに大気気温効果の補正を加えた結果、従来主に中性子計で観測されていた太陽活動/双極子磁場周期（11年/22年）変動がミューオン計でも明瞭に観測されていることが判った。変動の振幅は中性子計の約1/5である。この結果は、太陽モジュレーションのエネルギー依存性を調べるための貴重な情報を提供する。